

## 「ワークライフバランス」満足度調査

昨年に比べ、満足度が9ポイント上昇。  
 満足度がもっとも高い雇用形態、第1位は「契約社員」、最下位は「フリーランス」。  
 - 『エン派遣』ユーザーアンケート集計結果 -

人材採用・入社後活躍のエン・ジャパン株式会社（本社:東京都新宿区、代表取締役社長:鈴木孝二）が運営する日本最大級の派遣のお仕事まとめサイト『エン派遣』（<https://haken.en-japan.com/>）上で、サイト利用者を対象に「ワークライフバランス」についてアンケート調査を行ない、1,112名から回答を得ました。以下、概要をご報告します。

### 調査結果 概要

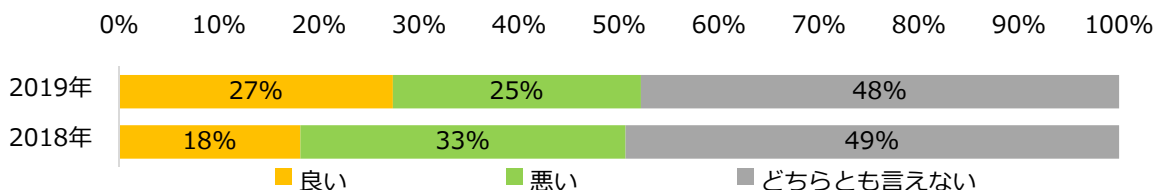
- ★ ワークライフバランスの満足度は27%。昨年に比べ9ポイント上昇。もっとも満足度が高い雇用形態は「契約社員」、最下位は「フリーランス」。
- ★ ワークライフバランスの改善策、第1位は「働きに見合った報酬が得られる」。
- ★ 現在の勤務時間・勤務日数を長いと感じているのは「正社員」。短いと感じているのは「フリーランス」。
- ★ 9割が「次の仕事を検討する際もワークライフバランスを考慮する」と回答。

### ■ 調査結果 詳細

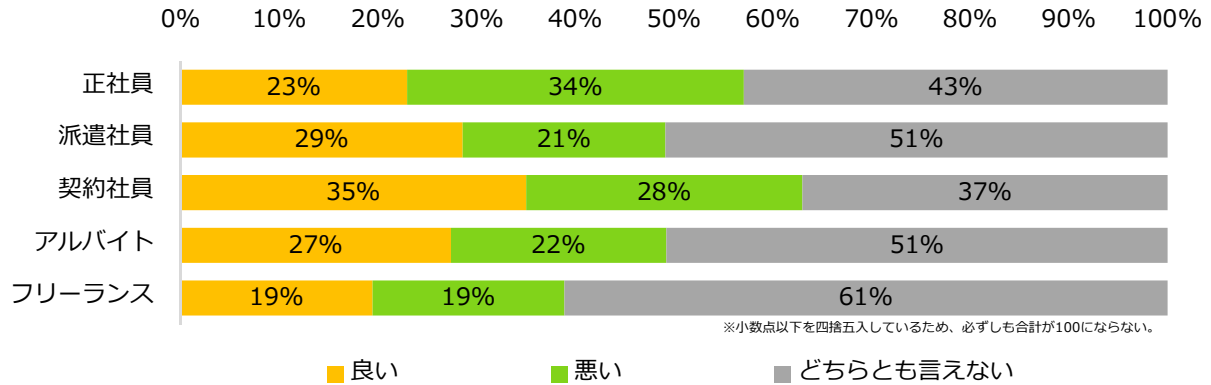
1：ワークライフバランスの満足度は27%。昨年に比べ9ポイント上昇。  
 もっとも満足度が高い雇用形態は「契約社員」、最下位は「フリーランス」。（図1、図2）

「現在（未就業中の方は直前）のワークライフバランスはいかがですか？」と伺ったところ、27%が「良い」と回答しました。昨年の同調査に比べ、9ポイント上昇しています。雇用形態別で見ると、「良い」という回答がもっとも多かったのは、「契約社員」（35%）でした。次いで「派遣社員」（29%）、「アルバイト」（27%）が続きます。最下位だったのは「フリーランス」（19%）でした。

【図1】 現在（未就業中の方は直前）のワークライフバランスはいかがですか？



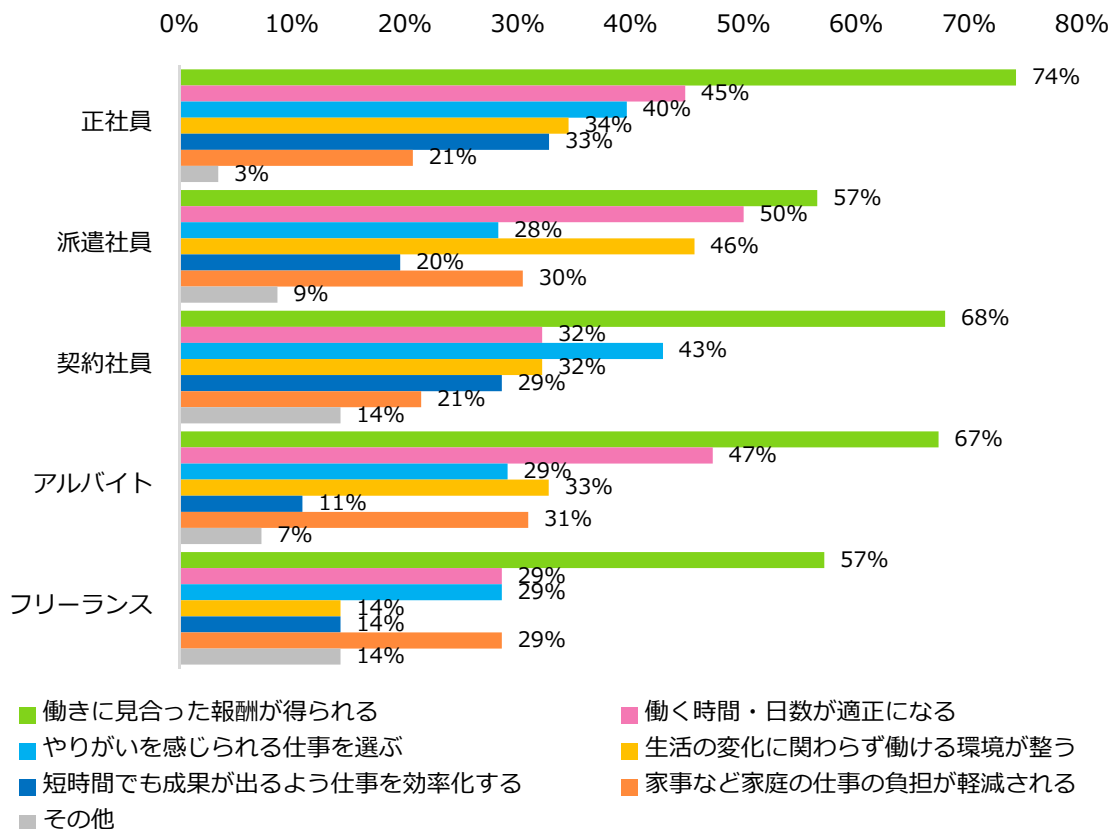
【図2】 現在（未就業中の方は直前）のワークライフバランスはいかがですか？（雇用形態別）



2：ワークライフバランスの改善策、第1位は「働きに見合った報酬が得られる」。(図3)

「ワークライフバランスが悪い」と回答した方に、改善策を伺いました。すべての雇用形態でもっとも多かったのは「働きに見合った報酬が得られる」（正社員：74%、派遣社員：57%、契約社員68%、アルバイト：67%、フリーランス：57%）でした。雇用形態別でみると、正社員と契約社員は「やりがいを感じられる仕事を選ぶ」（正社員：40%、契約社員43%）、派遣社員は「生活の変化に関わらず働ける環境が整う」（46%）のポイントが目立ちました。

【図3】 「ワークライフバランスが悪い」と回答された方に伺います。どのようにしたら改善すると思えますか？（3つまで選択可）

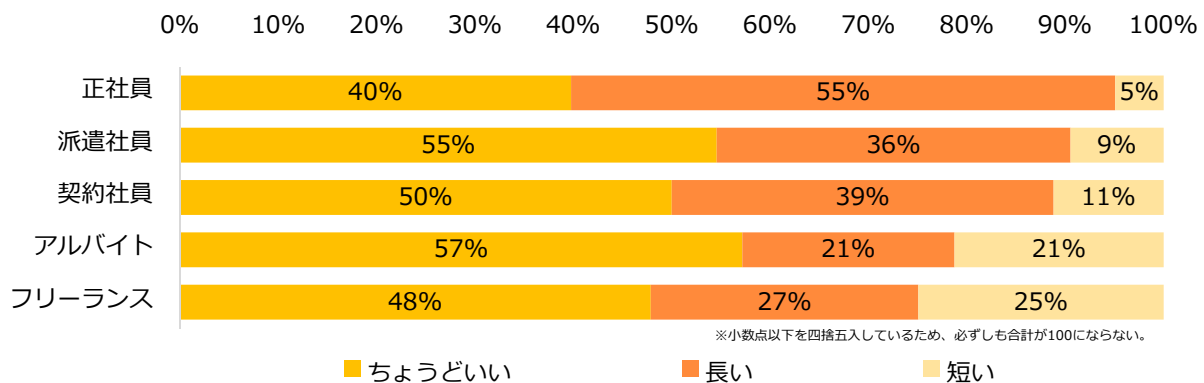


**3：現在の勤務時間・勤務日数を長いと感じているのは「正社員」。  
 短いと感じているのは「フリーランス」。(図4、図5、図6)**

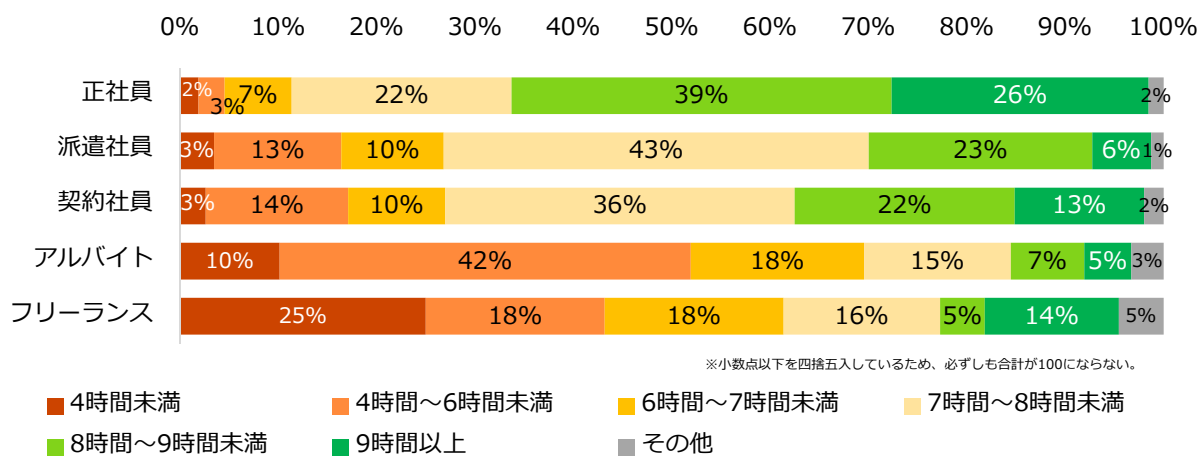
「現在の平均勤務時間や平均勤務日数についてどう感じていますか？」と伺いました。「ちょうどいい」の比率を雇用形態別に見ると、高い順に「アルバイト」(57%)、「派遣社員」(55%)、「契約社員」(50%)、「フリーランス」(48%)、「正社員」(40%)が並びました。「長い」は「正社員」(55%)、「短い」は「フリーランス」(25%)がそれぞれもっとも多い結果になりました。

現在の平均勤務時間を伺ったところ、「正社員」は「8時間以上」が65%(8時間～9時間未満：39%、9時間以上：26%)と、他の雇用形態よりも勤務時間が長い結果となりました。一方、「アルバイト」は「8時間未満」が85%(4時間未満：10%、4時間～6時間未満：42%、6時間～7時間未満：18%、7時間～8時間未満：15%)と、他の雇用形態よりも勤務時間が短いことが分かりました。雇用形態別の平均勤務日数もご紹介いたします。

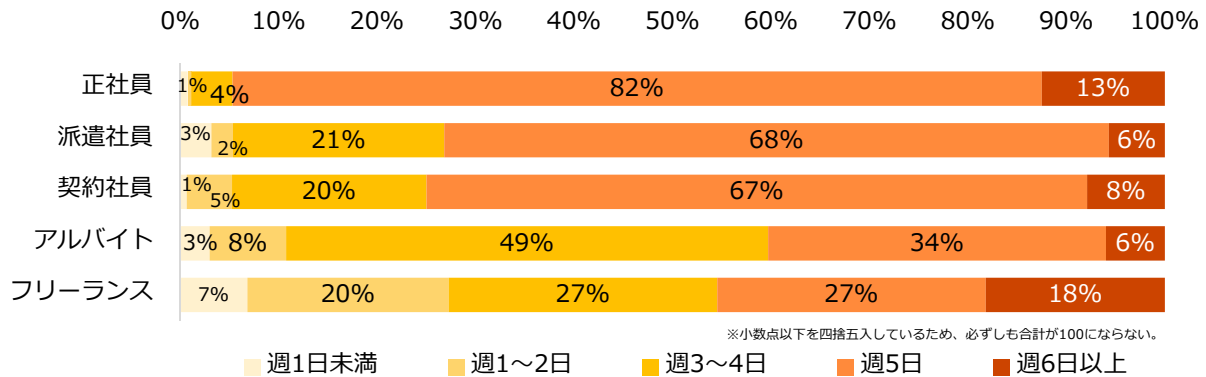
【図4】現在の平均勤務時間や平均勤務日数についてどう感じていますか？



【図5】現在の平均勤務時間はどのくらいですか？



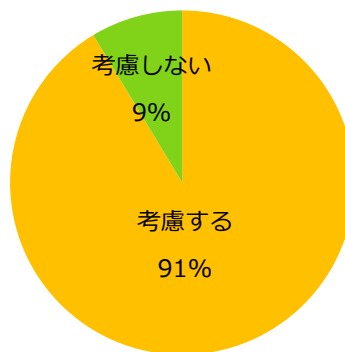
【図6】現在の平均勤務日数はどのくらいですか？



4：9割が「次の仕事を検討する際もワークライフバランスを考慮する」と回答。（図7）

「次のお仕事を検討する際、ワークライフバランスを考慮しますか？」と伺ったところ、91%が「考慮する」と回答しました。理由を伺うと、「資格取得のための時間を確保したいから」（25歳女性）、「心身に余裕がないと、家族にも影響をきたしてしまうから」（33歳女性）という声が挙がりました。仕事の充実が私生活の充実につながったエピソードもご紹介します。

【図7】次のお仕事を検討する際、ワークライフバランスを考慮しますか？



仕事の充実が私生活の充実につながったエピソード

- ・ 仕事が充実すれば、私生活も充実できると思う。休みが来れば趣味に打ち込んだり、お金をかけたりできると思うと普段の仕事にもやる気が出てくる。（26歳女性）
- ・ 仕事を頑張った後は、プライベートで自分にちょっとしたご褒美を用意しています。次の日もご褒美に向かって頑張ろうと思えます。（28歳女性）
- ・ 「社会の役に立っている」「人に必要とされている」という実感は心を豊かにして、私生活での自分にもいい影響があります。（30歳女性）
- ・ 仕事でホスピタリティを学び自信がつくと、プライベートでの自分の立ち振舞いにも自信がきます。（32歳女性）
- ・ 仕事をして社会とのつながりを感じていると、生活にメリハリがつき、家庭でも気持ちよく家族と接することが出来る。（42歳女性）

## 日本最大級の派遣情報サイト 『エン派遣』



## en エン派遣

<https://haken.en-japan.com/>

派遣で仕事を探す求職者と、全国の優良人材派遣会社を結び、日本最大級の派遣情報集合サイトです。派遣で働きたい人のさまざまなニーズと、派遣会社の持つ仕事情報のマッチングを重視したサイト設計が好評です。どんな仕事情報も、埋もれることなく、それを希望する派遣ユーザーにお届けします。

### 【調査概要】

- 調査方法：インターネットによるアンケート
- 調査対象：『エン派遣（<https://haken.en-japan.com/>）』を利用しているユーザー
- 有効回答数：1,112名
- 調査期間：2018年11月29日～12月26日

本ニュースリリースに関する問合せ先

**エン・ジャパン株式会社**

広報担当：大原、松田、清水

〒163-1335 新宿区西新宿6-5-1 新宿アイランドタワー

TEL：03-3342-6590 FAX：03-3342-4507 MAIL：en-press@en-japan.com

<https://corp.en-japan.com/>